

カトリック六甲教会 教会報

2007

4

No.424

主のご復活 おめでとうございます
4月の予定

		教会暦	教会行事
1	日	受難の主日(枝の主日) 世界青年の日	12:15 壮年会例会
2	月	受難の月曜日	
3	火	受難の火曜日	
4	水	受難の水曜日	11:00 聖香油のミサ(大阪カテドラル)
5	木	聖木曜日	19:00 主の晩さん(ミサ中に洗足式)
6	金	聖金曜日(大斎・小斎) 聖地のための献金	19:00 主の受難の祭儀
7	土	聖土曜日	19:00 復活徹夜祭
8	日	復活の主日	9:00 子どもたちの洗礼式
14	土		14:30 教会学校入学式
15	日	復活節第2主日 (神のいつくしみの主日)	10:00 (初聖体と祝福式)ミサ後 初聖体パーティー 17:00 海星病院集会祭儀
16	月		14:00 三日月会 ミサと例会
22	日	復活節第3主日	17:00 海星病院集会祭儀
23	月		11:00 ベビーとママの集い
25	水	聖マルコ福音記者	
29	日	復活節第4主日 世界召命祈願の日	14:00 教会学校黙想会(六甲学院生徒研修所)

感謝の気持ちをこめて

今年も穏やかな春が巡ってきました。眠っていたものが動き出すこの時期は、死からの復活を思い起こすのにとて面白い季節です。

しかし、復活は特別なものではなく、毎日の生活の中にあるものです。日が沈み、日が昇る。日が変われば、一日歳をとります。それは目的に近づき、終点に近くなることです。終点といえは、直接的に「死」を思いがちですが、何度もお話しした通り、死を通して新しい生活が始まるのです。「死」は終点ではありません。人間の成長は、右肩上がりの直線的な

ものではなく、らせん状に繰り返しを重ね、積み上げながら上に上がっていくイメージです。ですから、途中で踏みはずし落ちてしまっても、それまでの土台があるので、いちばん下まで落ちるのではなく、少なくとも成長を重ねてきた豊かさは残ります。

思い起こして下さい。

不平に気づくことで感謝を思い出します。非難を受ける中で

優しさに気づくはずです。

心配をすることで摂理を理解します。

落胆を片付けることで希望に出会います。

心の闇をなくすことで
ゆるしの大切さを実感します。
相手への憎みを減らすことで
相手の良さを発見します。
現状を否定することを
前向きにとらえましょう。
怒りを克服することで
心にいい忍耐を覚えます。
狭い考えを棄てれば
視野の広がるのを感じます。
暗い世界を直視することで
美しさを見出す力を得るでしょう。
嫉妬を克服することで
信頼を得る有難さを感じるでしょう。
過ちを受け入れることで美德を得ます。
諦めを乗り越えることによって
待つ力の大切さに支えられます。

自分で一杯になった心には、他の人の
入る隙間がありません。自分を減らすこと
によって、他人を受け入れる場所を作
ることができます。キリスト教 2000 年の
信仰がまさに、これだと思えます。続い
ていることがその証でしょう。「どうい

う風に生きていくのか」「自分は何を周
りにあげたいのか」この生き方
が「復活」です。起こったことにはで
なく、毎日の暮らしの中で気づくもの
に導かれ、そうして生きていく生き方
によって「復活」を体験するはずで
す。キリスト者としての信仰に基づき、
復活に向かって歩みを進めましょう。
そうすれば感じている厳しさ、淋し
さ、辛さは終わるはずで
す。キリスト者として「復活」する
のです。

このメッセージが皆さんのも
とに届く頃には、私は神様が命じ
られた新たな場所で働き始めていま
す。今、約 3 年余り過ごした六甲
教会での日々を、穏やかな気持ち
で振り返ると、様々なことがしみ
じみと思い起こされます。それは感
謝の日々です。これからも皆さん
のことを神様に祈っています。ど
うぞ私のためにも祈って下さい。

God bless you.

祈りのうちに

バレンタイン・デ・スーザ S.J.

各 部 会 だ よ り

👉 壮年会

詫さんからバトンを受け継ぎました川合です。よろしくお願
いします。

4 月 1 日に今年度第一回目の例会を開催します。7 月には婦人
会との合同例会を考えております。これからの六甲教会にお
ける「司牧」と「宣教」についてなど語り合えればと考
えております。今年、秋の旅行（遠足）にも行きましょ
う。一年通して教会の行事に参加し協力してまいり
ます。

👉 婦人会

2007 年度、婦人会は 4 月から翌年 3 月までが任期とな
ります。私達役員 7 名、7 つの頭を 1 つの心にして、婦人
会活動に邁進致します。

皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願
い致します。

【予定】

婦人会地区会トップの顔合わせ

4 月 13 日(金) 10:30 ~ 於：第 4 会議室

**2007 年度トップになられた方、お忙しい事と思
いますが、連絡事項・意見交換等を行いますので、万障
繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い致
します。**

婦人会遠足 (5/18(金)実施) 参加申し込み

4 月 14 日(土)、15 日(日)、21 日(土)、22 日(日)、
28 日(土)、29 日(日)ミサの前後に行きます。
詳細はチラシ(7 日より聖堂入口に配置)にてご
確認下さい。

【お知らせ】

中高生会の古紙回収にご協力お願いします。

回収期間：4 月 5 日 ~ 8 日

回収場所：イグナチオホール

【聖堂掃除当番】

- 1日(日) ミサ後 5班
- 8日(日) ミサ後 青年会
- 13日(金) 西2・3・4
- 22日(日) ミサ後 中高生会
- 27日(金) 西5・中1・2

登録していない方も、一緒に私達の教会をお掃除いたしましょう。ご参加下さい。

👉青年会

- ・4月8日(日)12:30~14:00 定例会
於：第3会議室
内容：聖書を読んで分かち合い
この日は清掃当番となっていますので、11時ミサ後聖堂前にお集まり下さい。ご協力よろしくお願ひします。
- ・4月22日(日) 青年会ハイキング
9時ミサ後、聖堂前にお集まり下さい。詳細は決まり次第お伝えします。

👉三日月会

- <例会>
4月16日(月)14時~ ミサ
世界史教授 杉本敦子先生のお話し
<喫茶>
4月8日(日・イースター) 10:00~13:00
於：イグナチオホール

📖図書紹介

「老いは恵み(老年の霊性)」

吉山登神父著
中央出版社(1987年初版)

著者は、老年は死を避けられない現実として実感する時から始まり、老いは恵みであり、人生の豊かな時期であるとし、次のように述べておられる。

一般に老人は足腰の痛みや多くの病気をもち、生きる希望を失いがちである。また医療が老人の病気の除去のみに努めていることや人々の表面的な労わりの言葉、演技もあり、老いを恵みとは捉えにくい。しかし老人は心の底では、希望・霊性を求めている。

そこで老年になると、孤独と肉体的な苦しみ

👉典礼部

聖体奉仕者の黙想会について

日時：5月6日(日)13:00~17:00
場所：イグナチオホール・小聖堂
指導：オマリー神父様

典礼奉仕者の集いについて

日時：6月30日(土)13:30~15:30
7月1日(日)13:30~15:30
場所：イグナチオホール
指導：オマリー神父様

典礼奉仕者(案内係・海星病院を含む)の方は、両日とも同じ内容ですので、いずれかにご出席ください。

尚、7月1日(日)には東ブロック合同の聖体奉仕者の研修会が神戸中央教会で開かれます

聖体奉仕者のホスチア奉納について

昨年11月から、9時と11時のミサで聖体奉仕者にホスチアを奉納していただいておりますが、4月より全てのミサ(週日ミサも含む)で、ホスチアの奉納を聖体奉仕者にお願ひすることになりました。

👉社会活動部

今月の社会活動部連絡会はいたしません。

新体制による第1回連絡会は、5月11日(金)10時より第2会議室にて開きます。5月に改めて御知らせ致しますが、お間違えの無い様に御願ひ致します。

に耐え、あり余る自由な時間をできる限り、人々と交わり、祈りに費やし、謙虚と感謝の気持ちで一刻一刻を生きていけば、神は「老いは恵み」であると老人に悟らせて下さる。

また神は認知症の方々の人格との交わりを求めておられ、周囲の若い者も「如何なる老いも恵み」であると理解できるよう努めねばならない。

そして最後に著者は「老いの恵みは自分の生命を希望の中に閉じること」と結んでおられる。

この本は聖パウロ書院に申し込めば、現在でも入手可能とのこと。また六甲教会の図書室にもあるので、老年の信者の方々に是非、一読されるようお奨めしたい。(小林)

お知らせ と お願い

主任司祭より

(1) まず教会に無くてはならない墓地委員会について、委員の方々の日頃のお世話に感謝するとともに新しい委員をご紹介しますと思います。現在のメンバーは(お名前はアイウエオ順で敬称略) 沖原、桐原、小西、志水、千原、福田、藤原、山田の8名ですが、新しく釜田、斉藤、前野の3名が加わって下さいました。

今までは特に、沖原さん、千原さんが責任者として、ほぼ20年間の長きに亘って私たちの大切な墓地を維持管理して下さいました。地域の連合会との交渉、境界線の立ち会いと契約、土地や柵の整地修繕、管理料の収集、所有者名や住所の変更処理、字彫りや納骨の準備、時には教会外の方々からの無理難題などもあり、大変なご苦労でした。また、赤木弁護士には専門的な立場から大きな支えをいただきました。ここに皆様と一緒に、委員の方々の祈りと奉仕に感謝を申し上げたいと思います。

4月からは、主として斉藤さん、福田さん、前野さんの3名の方々が中心になって働いて下さいます。どうかよろしくお願い致します。

(2) 教会報3月号で高山神父の住居変更についてお知らせしましたが、仕事の都合で従来通り釜ヶ崎の「旅路の里」に住むこととなり、不定期に週に一度ほど(例えば、旅路の里が実習の学生・青年たちで満員になる週末や姫路地域のベトナムの方々の主日ミサの帰途などに)イエズス会員としての共同生活のため、教会3階司祭館に宿泊する予定であることを確認しました。従って、高山神父への連絡は、今まで通り「旅路の里」にお願いしたいと思います。

(3) ご病気やご高齢のため、主日ミサに恒常的に参加しにくい方々が増えていますが、その中にはご都合の良い平日に、ゆっくりとご聖体訪問をかねて祈りに来られる方々もいらっしゃいます。その際、聖体拝領をご希望の方は、前もってお電話で教会の予定を確かめて下されば幸いです。或いは教会司祭館やザビエル・ハウス在の司祭に直接ご都合を尋ねられても結構です。よろしくお願い致します。



みんなの広場

「信徒奉仕職」の一環として、みなさまの自由な分かち合いの場としての「みんなの広場」にご寄稿下さい。

特別な出来事でなくてかまいません。日々の暮らしの中で神さまを感じる瞬間、日々の暮らしを通して感じたことを教会報の場を借りて、広くみんなで分かち合いましょ。

原稿は、広報部宛で受付にお届けください。手書き、ワードデータ、メール、ファックスいずれの形でもお受けいたします。(広報部)



<お 知 ら せ>

【大阪教区生涯養成委員会より】

生涯養成コースのご案内

2007年5月3日(3時受付)～5日(昼食後解散) (於:売布祈りの森・宝塚黙想の家)
テーマ「共同体の交わりを豊かにするために ～ファシリテーションを学ぶ～」

- * 信仰をもとにした集いをしたい
- * 小教区の様々な会議・活動を活性化したい
- * 分かち合いがうまくいかない現状を何とかしたい
- * 実際の教会学校活動に役立つ研修を受けたい

参加費: 16,000円

持参品: 聖書・洗面具・寝巻きなど

申込み・問合せ先: 大阪教区生涯養成委員会事務局(月火: 休み)

Tel.06-6946-3234 FAX.06-6946-3233

申込み締め切り: 4月20日(金)までにお申込み下さい。

【社会活動部より】

4月4日(水) 10:00～ 手芸の集い (於: 第1,2会議室)

何方様にもご参加頂けます。手作りのお好きな方ご遠慮なくお出で下さい。

4月22日(日) 10:00～ 手作りコーナー (於: イグナチオホール)

毎月恒例の手作りコーナーです。お弁当、食品、手作りの小物など販売致しますので、是非お立ち寄り下さい。

4月27日(金) 14:00～ おにぎり作り(於: 教会台所)

須磨方面夜回り支援の為に作ります。ご協力を御願い致します。

毎月第2土曜日に行っている炊き出しは、今月はお休みです。

【施設管理部より】

さらなる分別の徹底とごみの軽減にご協力を

平成19年4月1日より神戸市では事業系一般廃棄物の「指定袋制度」が導入されます。

指定袋は「可燃ごみ」「不燃ごみ」「粗大ごみ」「資源ごみ」の4区分となっていて透明で区分毎に赤・青・黒・緑の文字が印刷されています。指定袋は有料で、市の焼却処理費が含まれるので、90リットル用で1枚169円と高価です。また、教会が負担すべきごみ処理の料金は、袋購入代金と収集運搬料金の合計となり、1ヶ月で比較すると従来よりも912円も高くなってしまいます。

今後注意して頂かねばならないこと

- 1) 指定袋に誤りなく入れなければ、収集してもらえない。
- 2) 指定袋には指定された物以外を入れてはいけない。
- 3) 減量に努め、袋数を減らす。

ごみだし時に皆さんに実行していただきたいこと

- 1) 集積場のポリバケツに入れる時は区分別(可燃・不燃・粗大・資源)を守って下さい。
- 2) ペットボトルのキャップは外して不燃ごみに入れる。
- 3) 缶、ペットボトルは潰して、かさを減らしてごみ出しをする。
- 4) ボール箱は折りたたんで、所定の棚に置く。

従来よりお願いしていることですが、**今なお、不十分**ですので、更なるご協力をお願いします。

~~~~~

## 聖なる過越の三日間(聖木曜日～復活徹夜祭)の典礼に 参加しましょう

|       |              |                 |         |
|-------|--------------|-----------------|---------|
| 5日(木) | 聖木曜日         | 19:00           | 主の晚餐    |
| 6日(金) | 聖金曜日 (大斎・小斎) | 19:00           | 主の受難の祭儀 |
| 7日(土) | 聖土曜日         | 19:00           | 復活徹夜祭   |
| 8日(日) | 復活の主日        | 7:00 9:00 11:00 | ミサ      |

聖なる過ぎ越しの三日間は教会典礼の頂点であり、私たちの信仰の核心です。  
努力して参加しましょう！！

教会報月5月号の発行は、4月29日(日)です。  
編集会議は4月22日(日)です。  
記事原稿は、4月15日(日)正午までに信徒会館事務室  
へご提出願います。(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会  
〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21  
電 話 078-851-2846  
発行責任者 桜井彦孝神父  
編 集 広 報 部